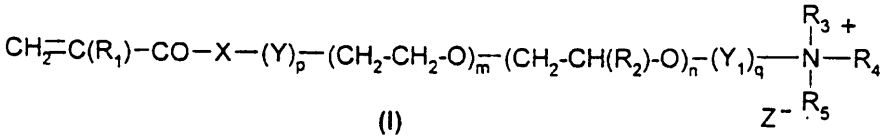
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

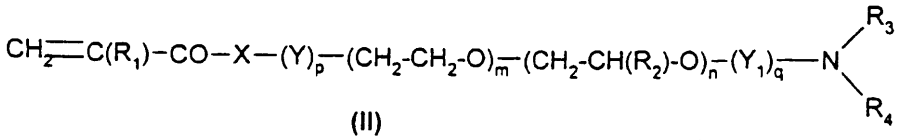
【公表番号】特表2004-520368(P2004-520368A)
【公表日】平成16年7月8日(2004.7.8)
【年通号数】公開・登録公報2004-026
【出願番号】特願2002-558980(P2002-558980)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｋ　7/06
　Ａ６１Ｋ　7/075
　Ａ６１Ｋ　7/08
　Ａ６１Ｋ　7/09
　Ａ６１Ｋ　7/13
　Ａ６１Ｋ　7/135
　Ａ６１Ｋ　7/50
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｋ　7/06
　Ａ６１Ｋ　7/075
　Ａ６１Ｋ　7/08
　Ａ６１Ｋ　7/09
　Ａ６１Ｋ　7/13
　Ａ６１Ｋ　7/135
　Ａ６１Ｋ　7/50

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月29日(2003.9.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　生理学的、特に化粧品的に許容可能な媒体中に、少なくとも一の保護及び／又はコンディショニング剤と、
－ａ）ビニルラクタム又は(C_1-C_5)アルキルビニルラクタム型の少なくとも一のモノマー；
－ｂ）次の構造(Ｉ)及び(ＩＩ)：

【化１】



(I)



(II)

[上式中：
Ｘは酸素原子又はＮＲ$_6$基を示し、
Ｒ$_1$及びＲ$_6$は互いに独立して、水素原子、又は直鎖状又は分枝状のＣ$_1$-Ｃ$_5$アルキル基を示し、
Ｒ$_2$は直鎖状又は分枝状のＣ$_1$-Ｃ$_4$アルキル基を示し、
Ｒ$_3$、Ｒ$_4$及びＲ$_5$は互いに独立して、水素原子、直鎖状又は分枝状のＣ$_1$-Ｃ$_{30}$アルキル基、又は次の式(ＩＩＩ)：
-(Ｙ$_2$)$_r$-(ＣＨ$_2$-ＣＨ(Ｒ$_7$)-Ｏ)$_x$-Ｒ$_8$　　(ＩＩＩ)
の基を示し、
Ｙ、Ｙ$_1$及びＹ$_2$は互いに独立して、直鎖状又は分枝状のＣ$_2$-Ｃ$_{16}$アルキレン基を示し、
Ｒ$_7$は水素、直鎖状又は分枝状のＣ$_1$-Ｃ$_4$アルキル基、又は直鎖状又は分枝状のＣ$_1$-Ｃ$_4$ヒドロキシアルキル基を示し、
Ｒ$_8$は水素原子、又は直鎖状又は分枝状のＣ$_1$-Ｃ$_{30}$アルキル基を示し、
ｐ、ｑ及びｒは互いに独立して、０値又は１値のいずれかを示し、
ｍ及びｎは互いに独立して、０～１００の範囲の整数を示し、
ｘは１～１００の範囲の整数を示し、
Ｚは有機酸又は無機酸のアニオンを示し、
但し：
－置換基Ｒ$_3$、Ｒ$_4$、Ｒ$_5$又はＲ$_8$の少なくとも一は直鎖状又は分枝状のＣ$_9$-Ｃ$_{30}$アルキル基を示し、
－ｍ又はｎが０以外である場合、ｑは１に等しく、
－ｍ又はｎが０に等しい場合、ｐ又はｑのいずれかは０に等しい]
のものから選択される少なくとも一のモノマー；
を含む少なくとも一のカチオン性ポリ(アルキル)ビニルラクタムポリマーを含有してなる、ケラチン物質、特に毛髪等のヒトのケラチン繊維をトリートメントするための組成物。
【請求項２】
式(ＩＶ)のモノマーがビニルピロリドンであることを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
モノマーｂ）が式(Ｉ)のモノマーであることを特徴とする請求項１又は２に記載の組成物。
【請求項４】
カチオン性ポリ(アルキル)ビニルラクタムポリマーが、ビニルピロリドン／ジメチルアミノプロピルメタクリルアミド／ドデシルジメチルメタクリルアミドプロピルアンモニウムトシラートのターポリマー、ビニルピロリドン／ジメチルアミノプロピルメタクリルアミド／ココイルジメチルメタクリルアミドプロピルアンモニウムトシラートのターポリマー、又はビニルピロリドン／ジメチルアミノプロピルメタクリルアミド／ラウリルジメチ

ルメタクリルアミドプロピルアンモニウムトシラート又はクロリドのターポリマーであることを特徴とする請求項１ないし３のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項５】
カチオン性ポリ(アルキル)ビニルラクタムポリマーが、組成物の全重量に対して０．０１重量％～１０重量％の範囲の量で使用されることを特徴とする請求項１ないし４のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項６】
ケラチン物質用の前記保護剤が、ＵＶ-遮蔽剤、フリーラジカル捕捉剤、酸化防止剤、ビタミン類及びプロビタミン類から選択されることを特徴とする請求項１ないし５のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項７】
前記ＵＶ-遮蔽剤が、水溶性、脂溶性又は水不溶性でシリコーン又は非シリコーンの有機遮蔽剤と、表面処理されていてもよい無機酸化物のナノ粒子から選択されることを特徴とする請求項６に記載の組成物。
【請求項８】
コンディショナーが、合成油、鉱物性油、植物性油、フルオロ油又はペルフルオロ油、天然又は合成のロウ、シリコーン類、請求項１ないし７のいずれか１項に記載のポリ(アルキル)ビニルラクタム以外のカチオン性ポリマー、セラミド型化合物、カチオン性界面活性剤、脂肪アミン類、脂肪酸とその誘導体、及びこれら種々の化合物の混合物から選択されることを特徴とする請求項１ないし７のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項９】
合成油が、水素化又は非水素化ポリブテン型、又は水素化又は非水素化ポリデセン型のポリオレフィン類であることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１０】
前記カチオン性ポリマーが、第４級セルロースエーテル誘導体、カチオン性シクロポリマー、カチオン性多糖類、及びビニルピロリドンとビニルイミダゾールの第４級ポリマー及びそれらの混合物から選択されることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１１】
前記シクロポリマーが、ジアリルジメチルアンモニウムクロリドのホモポリマーと、ジアリルジメチルアンモニウムクロリドとアクリルアミドのコポリマーから選択されることを特徴とする請求項１０に記載の組成物。
【請求項１２】
前記第４級セルロースエーテル誘導体が、トリメチルアンモニウム基で置換したエポキシドと反応したヒドロキシエチルセルロースから選択されることを特徴とする請求項１０に記載の組成物。
【請求項１３】
前記カチオン性多糖類が、２,３-エポキシプロピルトリメチルアンモニウム塩で変性したグアーガムから選択されることを特徴とする請求項１０に記載の組成物。
【請求項１４】
シリコーン類が、トリメチルシリル末端基を有するポリアルキルシロキサン類、ジメチルシラノール末端基を有するポリアルキルシロキサン類、ポリアルキルアリールシロキサン類、異なる粘度のガムと油とからなる２つのＰＤＭＳの混合物、オルガノシロキサン類と環状シリコーン類の混合物、及びオルガノポリシロキサン樹脂から選択されるポリオルガノシロキサン類であることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１５】
セラミド型化合物が：
－　２-Ｎ-リノレオイルアミノオクタデカン-１,３-ジオール、
－　２-Ｎ-オレオイルアミノオクタデカン-１,３-ジオール、
－　２-Ｎ-パルミトイルアミノオクタデカン-１,３-ジオール、
－　２-Ｎ-ステアロイルアミノオクタデカン-１,３-ジオール、

－　２-Ｎ-ベヘノイルアミノオクタデカン-１,３-ジオール、
－　２-Ｎ-[２-ヒドロキシパルミトイル]アミノオクタデカン-１,３-ジオール、
－　２-Ｎ-ステアロイルアミノオクタデカン-１,３,４-トリオール、及び特にＮ-ステアロイルフィトスフィンゴシン、
－　２-Ｎ-パルミトイルアミノヘキサデカン-１,３-ジオール、
－　ビス(Ｎ-ヒドロキシエチル-Ｎ-セチル)マロンアミド、
－　Ｎ-(２-ヒドロキシエチル)-Ｎ-(３-セチルオキシ-２-ヒドロキシプロピル)セチルアミド、
－　Ｎ-ドコサノイル-Ｎ-メチル-Ｄ-グルカミン、
又はこれらの化合物の混合物、
から選択されることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１６】
保護及び／又はコンディショニング剤が、組成物の全重量に対して０．００１重量％～２０重量％、好ましくは０．０１重量％～１０重量％の濃度で存在することを特徴とする請求項１ないし１５のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１７】
アニオン性、非イオン性及び両性界面活性剤、及びそれらの混合物から選択される少なくとも一の界面活性剤をさらに含有することを特徴とする請求項１ないし１６のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１８】
界面活性剤が、組成物の全重量に対して０．１重量％～６０重量％、好ましくは１重量％～４０重量％、さらに好ましくは５重量％～３０重量％の濃度で存在していることを特徴とする請求項１７に記載の組成物。
【請求項１９】
シャンプー、コンディショナー、毛髪のパーマネントウエーブ処理、ストレート化、染色又は脱色用の組成物、パーマネントウエーブ処理又は毛髪のストレート化施術の２つの工程の間に適用されてすすがれる組成物、又は身体の洗浄用組成物の形態であることを特徴とする請求項１ないし１８のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項２０】
毛髪等のケラチン物質をトリートメントする方法において、請求項１ないし１９のいずれか１項に記載の化粧品用組成物を前記ケラチン物質に適用し、ついで場合によっては水ですすぐことからなることを特徴とする方法。